東千葉メディカルセンターの機能・役割について

担当
東金市 企画政策部 医療センター推進課

令和８年８月作成時点

構成

①医療センター計画の沿革
②東千葉メディカルセンターの機能
③東千葉メディカルセンターの役割
④東千葉メディカルセンターの現状

①医療センター計画の沿革

医療センター計画の沿革

S27　郡南（大網病院）開設
S28　成東病院・県立東金病院開設
H12　成東病院（現さんむ医療センター）から山武医療協議会に対し、公立病院の統合と救命救急センターを備えた新病院の構築について提唱
H14　成東病院から千葉県知事に東金病院と大網病院との公立3病院の統合再編案を提案
H15.2　千葉県立病院経営健全化・将来構想策定委員会設置
H15.7　山武地域医療センター構想策定委員会設置
H16.3　千葉県立病院経営健全化・将来構想委員会が東金病院の地域医療センター化について提言
H16.3　千葉県と関係市町村で成東病院・東金病院・大網病院の公立3病院の再編統合構想である「山武地域医療センター構想」を策定
H18.3　千葉県に対し、中央病院開設許可申請を提出

医療センター計画の沿革

H18.4　千葉県より山武地域医療センター病院開設許可
H19.6　医療センター長となる人材の推薦を千葉県を通じ千葉大学に依頼
H20.2　医療センター長の権限について市町村間の意見の不一致により、計画を断念・白紙化
H20.2　知事より東金市・大網白里町・九十九里町での計画引き継ぎが提案される
H20.10　東金市・九十九里町・大網白里町で医療センター計画を引き継ぎ準備をするも、大網白里町議会予算否決で断念
H20.10　85.6億円の財政支援を含む県試案が提示され、東金市・九十九里町で医療センター計画を継承
H20.12　千葉大学の名誉教授がセンター長予定者として着任（当時）。医療センター事業計画の策定を開始
H21.1　1市1町医療センター第1回検討協議会等を開催

医療センター計画の沿革

H21.12　医療センター事業計画の策定完了

H22.2　東金市・九十九里町で病院開設許可取得

H22.8　千葉県知事から地方独立行政法人の設立認可

H22.10　地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターを設立

H23.3　法人として病院用地を取得

千葉大学と臨床教育センターの協定締結

H24.3　病院名を「東千葉メディカルセンター」に変更

H26.4　東千葉メディカルセンター開院

②東千葉メディカルセンターの機能

東千葉メディカルセンターの機能

救命救急センターを併設した三次救急まで対応できる総合病院

病院名称：　東千葉メディカルセンター

法人名称：　地方独立行政法人
東金九十九里地域医療センター

設立団体：　東金市・九十九里町

財政等の
包括支援：　千葉県

人材・
医療支援：　千葉大学医学部附属病院

東千葉メディカルセンターの機能

病院の施設概要（令和8年8月時点）

・場　　所：東金市丘山台三丁目6番地2
　　（千葉東金有料道路 東金インターから至近）

・施　　設：病院本棟（免震構造）/地上6階・地下1階
　　許可病床数/314床
　　届出病床数/314床
　　（うちICU8床、HCU12床、SCU12床）
　　救命救急センター併設
　　医師、看護師宿舎/45戸
　　院内保育所/定員20名
　　ドクターヘリ・ヘリポート（地上型）

位置図


交通アクセス
◆車を利用
千葉東金道路・東金インター入口から約5分
◆電車を利用　JR東金駅よりタクシー約15分
JR大網駅よりタクシー約10分
千葉東テクノグリーンパーク内
至　千葉（若葉区）
至　八街
至　横芝光
至　山武・銚子
二州小
126
中野IC
山田IC
東金IC
東金インター入口
至　千葉・東京
千葉東金道路
東千葉メディカルセンター
丘山小
126
カインズ
流通センター
首都圏中央連絡自動車道（圏央道）
東金駅
東金市役所
季美の森小
台方IC
126
九十九里町役場
東金片貝線
セブンイレブン
東金豊海線
片貝終点
128
東金九十九里有料道路
不動堂IC
真亀IC
九十九里有料道路
至　千葉
土気駅
大網駅
大網白里市役所
大網街道
白里IC
至　茂原・木更津
至　茂原・いすみ
至　一宮

東千葉メディカルセンターの機能

診療科（２５科）（令和８年８月時点）

- 総合診療科
- 消化器内科
- 脳神経内科
- 呼吸器内科
- 循環器内科
- 代謝・内分泌内科
- 小児科
- 外科
- 消化器外科
- 心臓血管外科
- 整形外科
- 脳神経外科
- 形成外科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 産婦人科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- リハビリテーション科
- 放射線科
- 麻酔科
- 精神科
- 歯科口腔外科
- 救急科・集中治療部
- 病理診断科

③東千葉メディカルセンターの役割

東千葉メディカルセンターの主な役割

⑴救命救急センター・救急医療

⑵災害拠点病院

⑶医師・看護師の育成と確保

⑷地域医療支援病院

救命救急センター・救急医療

救命救急センターとは

- 重篤救急患者の救命医療を目的に設置され、重症及び複数の診療科領域にわたるすべての重篤救急患者に対し、高度な救急医療を総合的に24時間体制で提供できる機能を有している医療機関

- 千葉県内には15か所設置

- 山武長生夷隅保健医療圏では東千葉メディカルセンターのみ

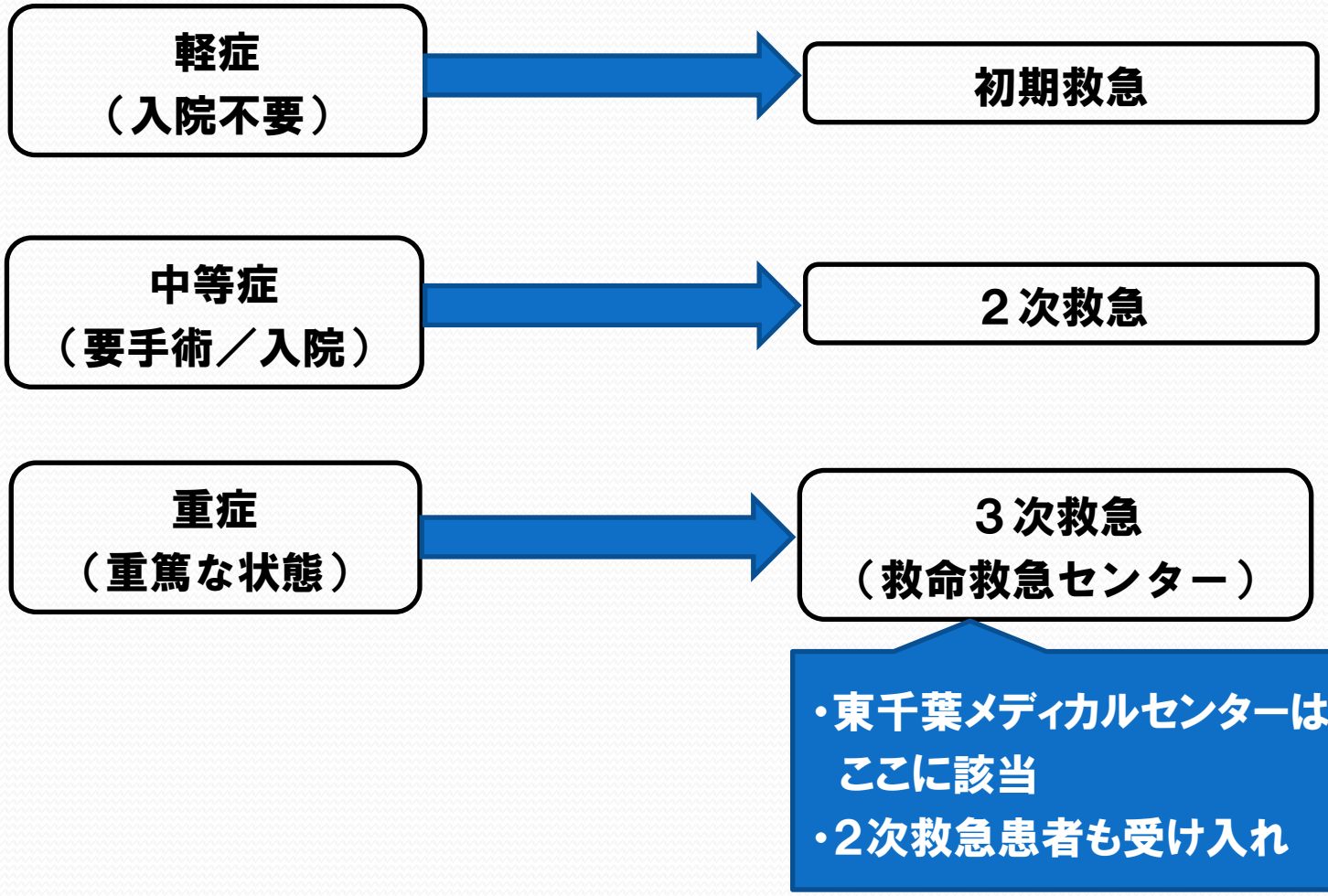
救命救急センター・救急医療

2次保健医療圏



救命救急センター・救急医療

救急医療体制



救命救急センター・救急医療

山武郡市の救急医療体制

区分	対象患者	実施医療機関
初期救急	救急患者のうち、入院の必要がない軽症者に対し休日や夜間の外来診療を行います。	山武郡市急病診療所 （夜間急病診療所） （診療時間20:00～22:00） 休日当番医（山武郡市医師会が対応）
二次救急	初期救急医療機関で入院や手術を必要とすると判断された救急患者や重症者に対応する医療を行います。	・二次輪番病院 さんむ医療センター、国保大網病院、九十九里病院、髙根病院、浅井病院、東千葉メディカルセンター（他病院の後方支援あり）
三次救急	救急車により直接、又は初期・第二次救急医療機関から転送される心筋梗塞、脳卒中、頭部損傷等の重篤患者に対する救命医療を行います。	東千葉メディカルセンターのみ

災害拠点病院

災害拠点病院とは

・高度な診療機能・被災地からの重症傷病者の受け入れ機能・広域搬送の対応機能・災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣機能等を備えた医療機関

・千葉県内には27か所設置
基幹災害拠点病院が５病院、
地域災害拠点病院が22病院
（東千葉メディカルセンターは「地域」）

・山武長生夷隅保健医療圏では東千葉メディカルセンターのみ

災害拠点病院

東千葉メディカルセンターの災害対応機能

○病院本棟の免震構造の採用
○非常用資機材備蓄
○病室への転換可能な会議室設計
○災害対応ヘリポート
○ＤＭＡＴの派遣

地域災害拠点病院としての役割を担う







地域医療支援病院

地域医療支援病院とは

- 患者に身近な地域で医療が提供されることが望ましいという観点から、紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用の実施等を通じて、第一線の地域医療を担うかかりつけ医、かかりつけ歯科医等を支援する能力を備え、地域医療の確保を図る病院として相応しい構造設備等を有する医療機関

- 千葉県内には24か所設置

- 山武長生夷隅保健医療圏では東千葉メディカルセンターのみ

地域医療支援病院

紹介・逆紹介について

基本的には、日常的な予防や治療は、診療所やクリニックといった「かかりつけ医」で診察していただき、入院や専門的な治療が必要になった場合に「かかりつけ医」の先生から当院へ紹介していただけます。

紹介いただいた患者さんの治療経過の報告を密に行い、当院での診療が終了しましたら、紹介元の「かかりつけ医」へ戻っていただいております。（逆紹介）

また、必要に応じ、より専門性のある他の医療機関へ紹介させていただくこともあります。

地域のかかりつけ医

東千葉メディカルセンター

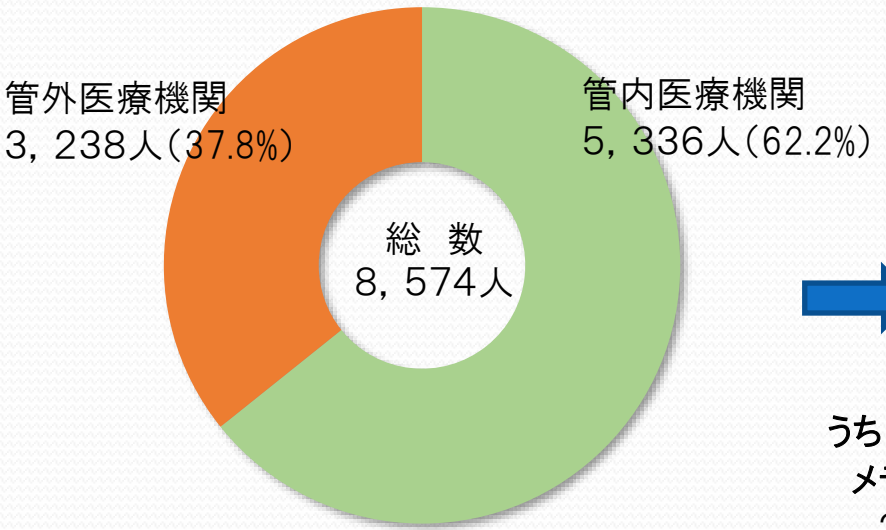


④東千葉メディカルセンターの現状

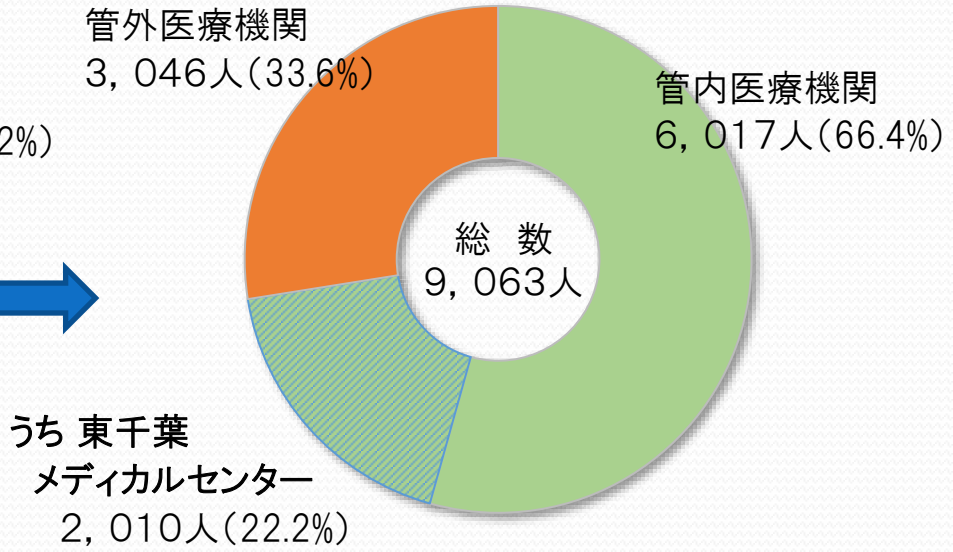
東千葉メディカルセンターの現状

開院前後の管内・管外搬送割合

開院前　平成25年

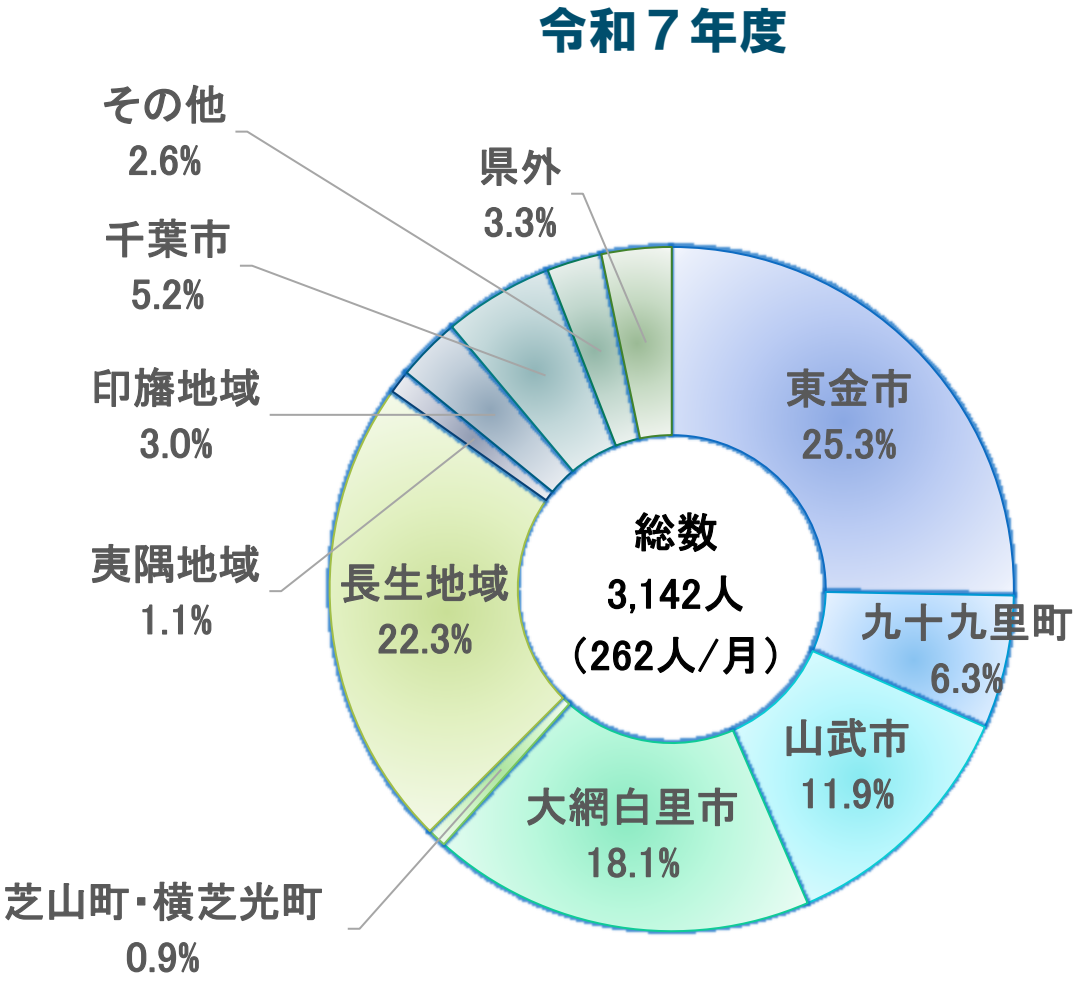


令和7年度



東千葉メディカルセンターの現状

救急搬送患者の受入れ状況（住所地別）



東千葉メディカルセンターの現状

送迎車両

東金市役所・九十九里町保健福祉センターからの無料の送迎車両を運行しています。

センターを利用する方であれば、どなたでも予約なしでご利用いただけます。

講演会

市民公開講座や糖尿病教室を開催しています。

入場無料、事前申込み無しで医師の方のお話を聞くことができます。